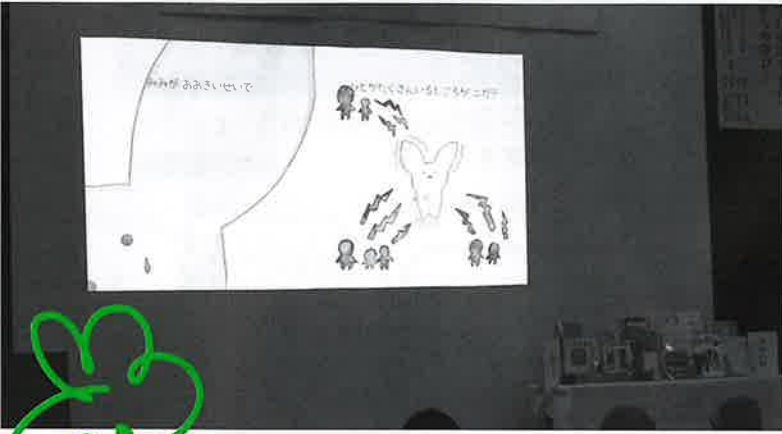


矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。

現在町内にいるのは7名。各メンバーは、JR水郡線東館駅を中心とした地域の場づくり、文化振興、地域食材を使った商品開発、読書の町づくり推進、スポーツ振興など、多岐にわたるジャンルで活動中です。

町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください！



新年あけましておめでとうございます。読書の町づくり担当、地域おこし協力隊の畠山です。

寒さが厳しくなってきましたが皆さんいかがお過ごしでしょうか？私はこの季節は朝起きるのが非常に辛いです！

最近の活動では、図書館の大きなイベントのお手伝いとしてデザイン業務に関わらせていただきました。12月は絵本コンクール受賞者の表彰式などが行われる町の一大イベントの絵本フェスタが、今月は14日が矢祭もったいない図書館の開館記念日にあたり、13日に記念事業としておはなしかいが開催されます。図書館では年間で様々な行事やイベントが催されていますので、興味のある方はぜひ参加してみてください！

今年で18周年を迎える図書館ですが、町の皆さんにこれからも親しまれる場所であるといいなと個人的に思っています。

今後ですが、2月に何か協力隊のイベントを企画できればと考えています。

最新情報は図書館 Instagram で発信していきますので、よろしくお願いします！

畠山青畝 Seiho Hatakeyama

読書の町づくり担当

東京都清瀬市出身。前職は絵本の製本屋に勤務。甘いものとコーヒーとお茶が好きです。割とよく食べます。

あけましておめでとうございます！2025年がいよいよ始まりでしたね。昨年を振り返ると、初めてばかりであったという間の1年だったなあ、と。実は、私にとって2024年の始まりといえば矢祭町でした。授業もあったため地元の成人式（今は二十歳のつどいというらしいですね）には出席しておらず、大きなイベントは矢祭町へのインターン活動だったんです。試験の一週間前だったので、「面接不安だなあ」やら「そもそも卒業できるかな」など学生らしい悩みと共に水郡線を利用しました。

そんなインターンからもう1年が経とうとしているとは！驚きです……

夢であった司書の仕事をしながら協力隊を出来ることもそうなのですが、2泊3日という短い時間でも伝わってくる魅力が沢山ある矢祭町で働けること。素敵な周りの人に恵まれていること。本当に有難いことだなあと感じる12月でした。

子ども司書講座をらせていただいた経験や、学校で子どもたちと関わる時間を大事に今年も頑張っていきます！

眞野夏凜 Karin Mano

読書の町づくり担当

青森県むつ市出身。短大卒業後、地域おこし協力隊に着任。読書、音楽を聴くのが好き。最近は backnumber ばかり。